

〒211-0035 川崎市中原区井田 3-10-31
公益財団法人 現代人形劇センター内

TEL : 044-777-2228
FAX: 044-777-3570
e-mail : deaf@puppet.or.jp
URL: http://deaf.puppet.or.jp/

Twitter, Facebook もやっています！
Twitter DEAF_PUPPET
Facebook 「デフ・パペットシアター・ひとみ」

日々制作...

制作メンバーのコラムです。



by 吉村衣世

先日、北九州市若松区にて森旅公演を実施しました！
若松区公演の実行委員会は主に「共働の家びのきお」という施設の職員さんで構成されていて、施設長の河野さんは1978年から重度脳性まひの方と共同生活を送っています。サービスを受ける／与える関係ではなく、お互いに無くてはならない存在である関係ですと活動をされてきました。

今回、デフパペを呼んでくださったのも、障害のあるもの／ないものとの協働を、多くの人に知ってほしい、考えてほしい、という思いからでした。

デフの活動を「両者の違いを一緒に乗り越えなければ作品は完成しないという、追い込まれた場所での闘いがあったのではないかと」言ってくださり、長年の河野さんの活動とデフパペを重ね合わせて考えてくださったその言葉の熱さに大きな愛を感じました。

私は、今月でデフパペに入団してから1年半になりますが、たくさんの違いに出会い、視界が大きく変わったり、心に引っかかったり、歩み寄って貰ったり、歩み寄ったり、、気付けばとっても面白い世界に巻き込まれていました。

デフパペが始まって今年で35年、その内の1年は、小さいようで、とても大きな1年でした！

これからもお互いの違いを楽しみながら、デフパペと共に歩んでゆきたいです。



by 大里千尋

最近ことばって大切だなと思う場面がとても多いです。
昨年、横浜市緑区にあるぶかぶかベーカリーさんと一緒にオペラ「森は生きている」の舞台を作り、発表しました。

今年もまた、そのワークショップを行うのですが、今回は谷川俊太郎の「生きる」の詩をもとに、私たちの「生きる」ことへの思いを作品にします。

声を出して詩をみんなで読んだとき、改めて今一番大切にしたいことだと思いました。

9月18日に安保法案が採決されましたが、そこに至るまでのデモで飛び交うことば、与党のことば、野党のことば、マスコミのことば・・・重さが全く違うように感じました。

私には「みんなで生きようよ」という思いがこもっている人の言葉が心に深く届きました。

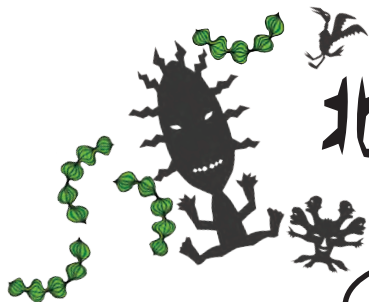
伝えたいという思いがあって、それがその人の本当の思いなら、同じことばでも全く届き方が違います。

デフの制作をはじめて、もうすぐ4年をむかえます。
全国の地域でたくさんデフのことば作品のこと、お話しをさせてもらった中で、

デフパペの思いをどのくらい伝えられることが出来たのでしょうか。

今、もう一度、ことばの大切さに向き合い、正直に、シンプルに・・・

それは「生きること」すべてにつながる基本だと思っています。



北海道・東北ツアーを終えて



今年7月～8月にかけての、森旅ツアーを振り返ってみました。

旭川市・士別市・枝幸町・新得町・札幌市・
新冠町・帯広市・室蘭市・秋田市・福島市
全10ヶ所の公演レポート！



旭川市 by 牧野英玄

苫小牧港へ無事到着したデフパペー一行は、そのまま旭川へ。

旭川はツアーの最初の公演でした。旭川公演は初めて取り組んで頂いた実行委員会さん！

公演では札幌を中心に活動をする「ナイト de ライト」さんとコラボ字幕付きのバンド演奏がありました。

北海道は母の故郷とあって、小さい頃から夏休みになると釧路や札幌、小樽、函館と母が連れて行ってくれました。

そして、時は経て2015年。デフパペー入り4年。やっと北海道で公演出来たのです。とても嬉しかったし、これから始まる約20日間の旅公演に胸を躍らせてました。北海道はでっかいどー！

士別市～枝幸町 by 善岡修

北海道出身の僕としては、北海道公演がそのまま里帰りの気分という、嬉しさ半分照れくささ半分の公演でした。

士別市の公演は6年ぶりで、実行委員さんとの久々の再会に喜びを感じました。手書きのポスターが素敵でした。

カニの産地で有名な枝幸町公演では、僕らの公演を呼ぶにあたって、手話を覚えてくれて手話で話しかけてくれた実行委員さんに、北海道ならではの大きな温かさを感じました。

枝幸町公演の後は自分の母校の北海道高等聾学校での講演でした。僕の恩師や僕の遥かに年の離れた学生の後輩達が見てくれていました。

僕の話は学生たちのこれからの生きるヒントを見出すお手伝いになったかなあ。



新得町～札幌市 by 鈴本文

新得町では聴覚障害者養護老人ホーム「やすらぎ荘」を訪問し、お芝居の一部を見て頂いたり人形を動かして頂いたりして、利用者の方と交流しました。その内何人かの方は本公演もご覧下さり、終演後にロビーでお会いすると、踊りながら楽しそうに帰られる姿に元気を戴きました。

札幌では人形劇専用の劇場「やまびこ座」で2回公演を行いました。人形劇に見慣れているお客様が多いこの会場で、1回目は子どもが中心、2回目は大人が中心という、観客層の違いがあり、またそれによって反応がある場面や楽しみ方にも違いがあり、私たちにとっても刺激になりました。

今回の旅公演で全体的に感じたことは、北海道の広大な大地のように、観る方の許容範囲も広く、新しいものとの出会いに物怖じしない懐の深さです。

札幌（やまびこ座） by やなせけいこ

札幌公演の次の日、やまびこ座にて2回ワークショップをしました。

前日に公演を観て下さったからか、すぐに楽しい雰囲気になって少～し気が楽になりました。

デフパペットの舞台上でどんな楽器がどんなふうに使われているかもほとんど話をしないで、すぐに楽器に触れてもらいました。

1回目は子どもたち、2回目は人形劇関係者に向けて、内容も変えましたが、皆さん、たくさんの楽器を一つ一つどんな音なのか確認するように次々触って音をだしてました。それぞれ自分の好きな音・楽器を見つけられたようで良かった。と、感じました。

新冠町 by やなせけいこ

デフパペットが始まって35年目。まだまだ公演に行っていないところがあるんです。

今回の新冠がその一つ。公演にはある緊張感を持って行きますが、初めて行く所はその2倍も3倍も緊張しますね。どんな人たちが観てくれてどんな反応をしてくれるのか？楽しんでくれるか？等々、心配事はいっぱい。でも、終わった後に主催して下さった皆さんとお話をして、ほっとしました。

初めての実行委さんもとっても緊張していたみたい。でも、やって良かったなあ、と。ここでお会いした皆さんとこれからもずっと繋がっていられますように。

帯広市のコカコーラの工場で、イベントがありデフパペも参加させてもらいました！
ここではワークショップ「音を楽しもう！」を実施し、もちろん！すごく盛り上がりました！
僕が印象的だったのが、ワークショップが終わって用意した楽器をそのまま置きっぱにしていたら、
だれから始めたわけでもなく心地よいリズムを刻み始め、みんなで一緒に音を乗せて楽しんでいました！最後
には小さい女の子が元気いっぱい踊り始めたのです！それは指揮者も楽譜もない打楽器だけのオーケストラ
のようでした！「音楽」は本当にその文字通りなんだと、改めて感じた日でした。



室蘭市 by 末永快

室蘭公演の実行委員会の皆様には、空き日に「のぼりべつクマ牧場」や「大湯沼（温泉でできた沼）」など様々なガ
イドをして頂きました。本当に優しくしていただき、普段は見れないようなところにも案内していただいたり、メンバー
一同お休みを楽しく過ごしました！

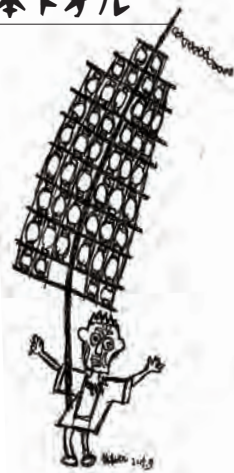
極めつけは公演のご挨拶の際、お客様を安心させてくれるような、笑いが起こるアナウンスをしてくださいました。お陰
様で、はじめから温かい空気が会場全体を包み、僕たちもとても楽しく演じることが出来ました。

秋田市～福島市 by 榎本トオル

北海道旅公演に続いて、東北・秋田公演のお話です。秋田は15年ぶりの公演。
実行委員会は、秋田バリアフリーネットワークやあきたデザインサポートやおやこ劇場や聴力障害者
協会などで構成されました。昔、秋田市にもろう者による人形劇団があり、その元メンバーも参加し
てくれました。

大学生も、何か手伝いありますか？と、舞台の仕込みもバラシも手伝ってくれました。
そして、旅公演の最終の福島市では、昨年郡山市で観た「森旅」が感動したので、福島市でも公演を
観たいと呼びかけて集まった有志の皆さんで実行委員会が構成されました。

公演の日は、ぼくの誕生日だったので、公演終了後の交流会では「おたんじょうびのうた」をプレ
ゼントいただきました。少しおじいちゃんになりました。皆さん、ありがとうございました。



福島市実行委員会ではオリジナルTシャツを
手作りしていただきました！！

実行委員さんによる ここだけの話

by 新冠公演実行委員長 筒田凡枝さん

日頃から障がいのあるかたと関わることもあり、いつもぼんやりと「障害のあるないに
関わらず、認め合えること」「差別のない社会」になるにはどうしたら良いものか、「言葉
の大切さ」をつたえるには・・・？どうしたら良いかと思っていたところ、デフパペの大
里さんから北海道公演のおはなしを頂き、是非、新冠町に呼べないものか・・・と最初は一
人でジタバタしていましたが、私の想いを伝えると「やりましょう！！」と共感してくれ
る方が増え、町民有志の実行委員会が立ち上がりました。

初めての名ばかり実行委員長で右も左もわからないまま無謀ともいえるチャレンジに、
沢山の方達の応援があり公演当日を迎えることができました。
夢をみているのではないか、ほっぺをつねってみたのを思い出すとなんだか笑ってしまい
ます。

善岡さんのワークショップの影響もあってか、障がいの有無に関わらず、お子さんから
ご高齢のかたまで予想を上回るお客様にとってもびっくりしたのと同時に、うれしい気持ち
で胸がいっぱいになりました。

公演を終えて、決して一人ではできなかったこと、人と人とのつながりや心の温かさを感じ
ています。

そして、すばらしい生の舞台を目にすることができ劇団の方にも感謝しております。

本当にありがとうございました。



3ヶ月に一度のこんにちわ

皆様、こんにちわ。末永快と申します。今回は作品のお話をしたいと思います。

今僕たちが上演している「森と夜と世界の果てへの旅」は6人で上演する為に作られています。

僕以外の5人は初演からのメンバーですが、実は僕はこのお芝居が出来て3年目に入ったメンバーなんです。赫(かく)さん、覚えてらっしゃいますでしょうか？彼と入れ替わりで入りました。色々教わりながら頑張っ

とところが、やはり前役者と比べてしまうと技術的にも物理的にも「軽さが足りない」お芝居になってしまう。どうした物かと皆で試行錯誤し、ついに最近の北海道公演では主人公・ジュジュマンの動きに3拍子のクセを付けると言う妙案を実行してみました。すると軽さが生まれるだけでなく、不思議な動きで異文化的な印象がプラスされ面白くなりました。前役者には無い、僕だけのジュジュマンのクセ。ちょっと嬉しくなりますね。

初演の時期と比べると役者も替わり、人形の衣装も換わり、シーンの構成もどんどん変わっている森旅。まさに生の舞台ならではの進化するエンターテイメントですね。

これから更にシーンを作りかえる予定もあります。

皆様に支えられ、育てて頂いたこのお芝居、これからも頑張っ



活動スケジュール

- 「森と夜と世界の果てへの旅」
11/3 岩手県 一関市清明支援中学校
- 「はこ/BOXES〜じいちゃんのオルゴール♪」
11/9~12/4 全国の小学校、19校の巡回公演をいたします。
- 「稲むらの火」
1/11 岡山県玉野市
2/20 和歌山県和歌山市
- 「一寸法師」
10/21~25 香川県 たらまる人形劇場
- 「音のワークショップ」
2/7 埼玉県所沢市
- 「手と手でお話するワークショップ」
12/19 茨城県取手市
1/14 千葉県打瀬小学校
1/23 神奈川県葉山
1/31 小平市
- 「手話で詩を詠むワークショップ」
12/11 沼津聴覚特別支援学校
1/22 坂戸ろう学園
2/2 大塚ろう学校
2/18 山梨県立ろう学校
2/19 県立平塚ろう学校
- ~その他活動~
11/1 川崎市立聴覚支援学校講演会(善岡)
12/13 群馬県太田市講演会(善岡)
12/9 亜細亜大学講演会(善岡)
1/9 取手市講演会(善岡)
2/7 横須賀手話サークル連合会講演会(善岡)
2/14 「表現のいちば」

追加・変更される場合もありますので、詳しくはデフパペ事務所にお問い合わせ下さい。

次号(冬)に、またお会いしましょう!

デフ・パペットシアター・ひとみ

やなせけいこ 榎本トオル 善岡修 鈴木文
牧野英玄 末永快 大里千尋 吉村衣世

新しいワークショップのご紹介!

☆「はこ」のワークショップ

文化庁の「平成27年度文化芸術による子供の育成事業」(巡回公演事業)として、19校の学校を訪れ公演を行います。「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」の公演を行うとともに、公演の前にははこを使っていろいろなものを創造し、みんなで表現するワークショップも開催します。

☆「手話で詩を詠むワークショップ」

キリン福祉財団の「障害児・者福祉事業」として、全国のろう学校の子どもたちと一緒に作るワークショップを実施しています。「のはらうた」作: 工藤直子
「雨二モマケズ」作: 宮澤賢治
の詩を読み、みんなで詩の意味を考えながら、演劇的な手話表現で語ったり、人形で演じたり、楽器の音を付けたりします。

~~~~~退団のご挨拶~~~~~

本年6月、デフ・パペットシアター・ひとみ/現代人形劇センターを退職致しました。

このお仕事で出会えた多くのお客様…お客様という言葉が似合わないくらいに、志を共にして上演を作り上げた日本各地の皆さん、本当にありがとうございました。

これを書いている今は10月。僕はデフパペを離れて、別な演劇の世界に居ます。仕事とは関係なく、地域の手話サークルにも今月加入します。今度また会う機会があった時、手話がヘタクソになっていたら、大木の尻を蹴飛ばしてやってください。

その日まで、皆さまどうか、お元気で過ごしてください。大木翔吾

同